

# 令和 7 年度 奨学金募集案内

(日本学生支援機構分を除く)  
書類提出期限を過ぎた奨学金情報も掲載しております。

| No | 奨学金の名称                          | 学生課提出締切日                               | 形態 | 金額<br>(月額)                                     | 応募<br>人員  | 備考 1  | 備考 2  | 備考 3   |
|----|---------------------------------|--|----|--|-----------|---|---|--|
| 1  | 公益財団法人<br>シマノ財団                 | R7. 4. 4                               | 給与 | 25, 000円                                       | 2名        | 令和7年度4月末時点において<br>本科4年生が対象  | ・学業・人物共に優秀で経済的理由により<br>修学が困難な者。<br>・年1回の奨学生交流会(大阪)等、当財団<br>の行事に出席できる者及び年2回の状況報<br>告ができる者(交流会は9月中旬頃を予定)                                | 他奨学金との併給は差しつかえないが、合計額は10万円<br>を超えない範囲とする。(10万円を多少超える場合は応<br>相談)  |
| 2  | ニコン奨学金                          | R7. 3. 21                              | 給与 | 20, 000円<br>(本科2、4年生)<br>30, 000円<br>(ME専攻1年生) | 各学年<br>2名 | 令和7年4月時点で<br>本科2、4年生、<br>ME専攻1年生対象  | 【本科2、4年生の申請条件】<br>成績要件：令和6年度の成績が所属学科<br>(E科の場合は所属コース)内の上位3分<br>の1以内<br>家計基準：令和6年度(令和5年の収入)<br>の世帯総収入が年額730万円以下<br>※高専機構全体で15名まで採用     | 【ME専攻1年生の申請条件】<br>成績要件：なし<br>家計基準：令和6年度(令和5年の収入)の世帯総収入<br>が年額730万円以下<br>※高専機構全体で10名まで採用  |
| 3  | 一般財団法人<br>鶴見奨学研究助成財団            | R7. 4. 16                              | 給与 | 20, 000円<br>(本科4年生)<br>25, 000円<br>(専攻科1年生)    |           | ・実践的・創造的技術者を<br>目指す者。<br>・R7. 4月時点で本科4年生<br>及び専攻科1年生<br>・向学心に富み、学業優秀<br>であり、かつ、品行方正で<br>あること。 | 希望者は、左記締切日までに学生課学<br>生担当へ申し出てください。応募に際<br>しては、以下の手続きが必要です。<br>・事前アンケートへの回答<br>・奨学生申込書、推薦書、成績証明<br>書、在学証明書を希望者が提出<br>※奨学生申込書は希望者が作成。   | 給付型奨学金との併用不可<br>※応募者数の集中を避けるため、当財団が応募件数<br>を調整する場合があります、必ず推薦できるとは限りま<br>せん。  |
| 4  | 日本国土開発<br>未来研究財団                | R7. 4. 18                              | 給与 | 25, 000円                                       |           | R7年4月入学生<br>R7. 4. 1現在で16歳以下  | 人物、学業ともに優秀で、経済的な理<br>由により就学が困難であると認められ<br>る者  | 民間企業及び団体の給付型奨学金併用不可  |
| 5  | JEES・ジョンソン<br>コントロールズ<br>高専生奨学金 | R7. 4. 21<br>〔学生課への申出期日〕<br>R7. 4. 14  | 給与 | 50, 000円                                       | 1名        | ・R7. 4月時点で、4、5年<br>生、専攻科1、2年生に在籍<br>する日本人学生または私費<br>留学生<br>・学業成績優秀で、経済的<br>援助を必要とする者          | 給付期間は1年<br>R7. 4. 14までに学生担当にメールを送信<br>してください。(書類データを送信し<br>ます。)   | 同協会の他の奨学金を受給せず、他の団体から受け<br>る奨学金等の受給合計額が年60万円(月額5万円)以<br>下の者(返済が必要な貸与奨学金、修学支援新制度<br>は除く)<br>再応募不可<br>※推薦書は学生課から担任等に依頼します。   |
| 6  | 中西奨学会                           | R7. 5. 7                               | 給与 | 30, 000円                                       | 1名        | R7年度2年生より4年間  | 希望者は、学生課学生担当まで申し出た上<br>で、左記期日までに必要書類を提出してくだ<br>さい。必要書類は配付します。<br>※同一世帯の生計維持者の前年度の収入金額<br>が税込500万円を越える方は出願不可。                          | ※推薦書は新担任に作成依頼してください。   |
| 7  | レントオール奨学財団                      | R7. 4. 16                              | 給与 | 1～3年<br>20, 000円<br>4年以上<br>30, 000円           |           | 機械・都市システム・建築<br>学科生及び専攻科生   | 希望者は、学生課学生担当まで申し出<br>た上で、左記期日までに必要書類を提出<br>してください。必要書類は配付しま<br>す。<br>・保護者が大阪府、京都府、兵庫県、<br>奈良県、滋賀県または和歌山県に住所<br>を有する者。<br>・学費の支弁が困難な者。 | 他の奨学金との併給(貸与を除く)不可。(た<br>だし、日本学生支援機構及び地方自治体の奨学金は除<br>く。日本学生支援機構の4年生以上の修学支援新制度<br>奨学金受給者は給付状況を勘案して選考。)<br><br>※R7. 4月時点で1年生の者は、卒業中学校発行の調<br>査書の提出が必要。<br>※推薦書は新担任に依頼してください。 |
| 8  | 朝鮮奨学会<br>(1～5年生)                | 直接応募<br>R7. 4. 10～<br>R7. 5. 12        | 給与 | 10, 000円                                       |           | 韓国人・朝鮮人学生<br>(韓国籍・朝鮮籍)  | 給付期間は1年間。継続給付を希望する<br>者は、再応募し審査を受ける必要あり。  | ・年2回(夏季及び年度末)レポートの提出が必要<br>・本会所定の諸行事に出席する必要あり  |
| 9  | 朝鮮奨学会<br>(専攻科生)                 | 直接応募<br>R7. 4. 10～<br>R7. 5. 12        | 給与 | 25, 000円                                       |           | 韓国人・朝鮮人学生<br>(韓国籍・朝鮮籍)  | 給付期間は1年間。<br>継続生募集期間は、R7. 4. 4～4. 25  | ・年2回レポートの提出が必要<br>・本会所定の諸行事に出席する必要あり   |
| 10 | 住友電工グループ社会<br>貢献基金              | R7. 8. 29                              | 給与 | 60, 000円                                       | 1名        | R7年度5年に在籍し、当基<br>金が指定する大学の3年次<br>への編入を希望する者   | 月額の給付型奨学金総額は10万円以<br>下。併給先連絡要。<br>※総額に修学支援新制度の給付型奨学<br>金、貸与型奨学金は含まない。   | 給付期間<br>大学3年編入者：令和8年4月分から最長2年または3年<br>書類選考および面接選考有り。   |
| 11 | 寺浦奨学会                           | R7. 4. 16                              | 給与 | 45, 000円                                       | 1名        | 経済的に学資の支弁が困難<br>と認められる優秀な者。   | 寺浦奨学会の面接懇談会に参加できる<br>こと。<br>令和7年6月14日(土)10時予定   |  |
| 12 | 日本モバイル建築協会                      | 直接応募<br>R7. 4. 7～<br>R7. 4. 21         | 給与 | 50, 000円<br>(在学中1回限り)                          | 1名        | 日本国内の高等専門学校に<br>在籍中の学生  | 論文または自主研究テーマが、木造モ<br>バイル建築に関する技術的・社会制<br>度的課題解決に関する研究および木造モ<br>バイル建築を活用した地方創生や応急<br>仮設住宅利用等に関する研究開発であ<br>ること。                         | 応募希望者は、当協会のホームページを確認の上、<br>各自で応募すること。  |
| 13 | 大成学術財団                          | 2025/4/30<br>⇒<br>2025/7/4<br>(延長)     | 給与 | 30, 000円                                       | 1名        | R7. 4月時点で建築・土木・<br>都市開発等、建設に関係す<br>る学問を選考している3年<br>生  | ・前年度までの成績(GPA)が、3. 00以<br>上<br>・家計支持者の収入が800万円以下  | 書類選考により総合的に勘案し、必要に応じて面接<br>を実施する場合あり。<br>財団が指定する行事(年2回程度)への出席が必要。  |
| 14 | 関育英奨学会                          | R7. 5. 2                               | 貸与 | 20, 000円                                       | 1～2名      | R7. 4月時点で本科2～5年生  | 人物・学業とも優秀かつ健康でありな<br>がら、学資の支弁が困難と認められる<br>者。  | 貸与期間：2025年4月から正規最短修業期間<br>※貸与金については返還の義務があります。(無利<br>子)  |
| 15 | 日本高専・大学支援財<br>団                 | R7. 5. 2                               | 給与 | 25, 000円                                       |           | R7. 4月時点で本科5年生<br>及び専攻科生  | 学業、人物ともに優秀であり、健康で<br>あること。  | 財団関係者が参加する奨学生交流会やOB・OG交流会<br>への参加が必要。  |
| 16 | 兵庫県高等学校教育振<br>興会奨学資金            | R7. 5. 2                               | 貸与 | 自宅：<br>18, 000円<br>自宅外：<br>23, 000円            |           | 兵庫県内に保護者が在住で<br>ある1～5年生   | 日本学生支援機構奨学金、母子及び父<br>子並びに寡婦福祉法による修学資金等<br>との併用不可  | 希望者は、通学交通費、電動アシスト自転車購入<br>費、タブレット端末等購入費も貸与可(但し、本会<br>の奨学生に限る)  |
| 17 | 関電工奨学金                          | R7. 5. 30                              | 給与 | 20, 000円                                       | 1名        | R7. 4月時点で本科3年生、4<br>年生  | ・家計基準：令和6年1月から令和6年12<br>月までの世帯の総収入が年額730万円以<br>下であること。<br>・他の奨学金との併給可。<br>・給付期間は一年間。  | 1年次から申請時点まで、継続して学校が公認する<br>同一の「部・同好会・課外活動等」を行っている<br>者。  |
| 18 | あしなが育英会<br>(在学採用4、5年生)          | R7. 5. 2                               | 給与 | 30, 000円                                       |           | 4～5年生   | 保護者等が病気や災害(交通事故を除<br>く)もしくは自死などで死亡、または<br>保護者が1～5級の障がい認定を受け<br>ている家庭。   | 2023年度から制度変更により給付のみ。   |
| 19 | あしなが育英会<br>(大学奨学生予約採用<br>生)     | 一次募集<br>R7. 5. 20<br>二次募集<br>R7. 8. 20 | 貸与 | 40, 000円                                       |           | 2026年4月に大学または短<br>期大学の第1学年に進学を<br>希望している者(大学3年<br>次編入を希望している5年<br>生を含む)                       | 保護者等が病気や災害(交通事故を除<br>く)もしくは自死などで死亡、または<br>保護者が1～5級の障がい認定を受け<br>ている家庭。   |  |

| No | 奨学金の名称                               | 学生課提出締切日                            | 形態 | 金額<br>(月額)   | 応募<br>人員 | 備考 1   | 備考 2   | 備考 3  |
|----|--------------------------------------|-------------------------------------|----|--|----------|--|--|---|
| 20 | 交通遺児育英会<br>(在学採用)                    | R7. 12. 12                          | 貸与 | 2・3・4万円<br>(1～3年)<br>4・5・6万円<br>(4・5年<br>専攻科生)<br>より選択 |          | 1～5年生、専攻科生 ※<br>4・5年生、専攻科生は区<br>分が異なるため、希望者<br>は早めにお知らせくだ<br>さい。   | 保護者が道路における<br>交通事故で死亡又は重<br>度の後遺障害者となっ<br>た家庭の学生   | 貸与額のうち<br>1～3年：1万円は給<br>付<br>4・5年・専攻科：2<br>万円は給付  |
| 21 | 日工記念事業団                              | R7. 4. 30                           | 給与 | 20,000円  | 1名       | R7年度本科1年生  | 給付期間：5年生まで   | 家計については、令<br>和6年度の所得金額に<br>より判定   |
| 22 | 川村育英会                                | R7. 5. 20                           | 給与 | 30,000   | 1名       | R7年度本科3年生  | ・父母及び生計を一に<br>する家族の年間収入が<br>500万円以下。<br>・本科1、2年次の学業<br>成績について、GPA3.<br>0以上。  | ・父母及び生計を一に<br>する家族の収入状況を<br>証明する書類として、<br>令和7年度の所得証明<br>書（令和6年1月～令<br>和6年12月分）が必<br>要。<br>・原則として「奨学生<br>証授与式、講演会及び<br>奨学生交流会」への出<br>席が必要。   |
| 23 | ヘイシン奨学金                              | 直接応募<br>R7. 8. 1～<br>R7. 10. 30     | 給与 | 50,000円  |          | 2年生、3年生、4年生  | ※2025年4月時点で、<br>国公立の工業高等専<br>門学校に在籍しており<br>、経済上の理由で就学<br>が困難な者。<br>※8/1～応募開始。<br>学校を通さず、各個人<br>で申請(郵送)してくだ<br>さい。  | 募集要項が必要な場<br>合は、学生課にご連絡<br>ください。  |
| 24 | 大阪府育英会<br>(1～5年次)                    | R7. 5. 7                            | 貸与 | 年額100,000円<br>＋授業料まで可                                  |          | 1～5年生<br>保護者が大阪府内在<br>住  | 所得判定額が251,100<br>円未満（令和6年度の<br>市町村民税の課税標準<br>額×6%－市町村民税<br>の調整控除の額＝所得<br>判定額）<br>※4人世帯(父母、子<br>供二人)の場合、目安<br>として年収が800万円<br>未満。  | 貸与金額は年額100,000<br>円＋授業料（授業料免<br>除額を差し引いた額）ま<br>での希望する額を貸<br>与可。   |
| 25 | 日教弘高等学校等給<br>付奨学金                    | 2025/6/13<br>⇒<br>2025/8/20<br>(延長) | 給与 | (年額)<br>50,000円  | 2名       | 1～3年生の学生対象   | ・人物・学業ともに良<br>好で経済的理由から就<br>学が困難な学生。<br>・令和6年の収入が保<br>護者等全員で480万円<br>未満  |   |
| 26 | 山内健二記念奨学育<br>英基金                     | R7. 5. 9                            | 給与 | 30,000円  | 3名       | 1～3年生  | 世帯合計所得金額300<br>万円以下<br>経済的理由により、十<br>分な学習環境に恵ま<br>れない事情がある者<br>申請時点において、同<br>一世帯に当基金受給者<br>がいないこと  | 前年度または中学3年<br>時の少なくともどちら<br>か一方の成績の平均が<br>5段階評定換算4.3以<br>上  |
| 27 | フソウ育英会<br>(予約)                       | ①2025/5/30<br>②2025/9/30            | 給与 | 50,000円  |          | ①②いずれかに該当す<br>る者<br>①次年度、本校で4年<br>生に進級予定または専<br>攻科進学予定の者。<br>②次年度に、日本国内<br>の四年制大学2年次ま<br>たは3年次へ編入学を<br>希望している者。<br>※ただし、令和8年度<br>4月入学または進級時<br>点で20歳以下である<br>こと。 | 給付期間：進学・進級<br>月から卒業月までの正<br>規の修学期間。（最大<br>4年間）<br>①高専の本科課程の4<br>年生及び5年生と専<br>攻科課程を合わせた4<br>年間<br>②高専の本科課程の4<br>年生及び5年生と大学<br>編入学後の学部課程を<br>合わせた4年間<br>③大学編入学後の学部<br>課程と修士課程を合わ<br>せた4年間も対象 | 学力基準：前年度の全<br>履修科目の評定平均値<br>が3.0以上であること<br>。ただし、入学または<br>進級する大学等に対し<br>て、学修意欲を有する<br>判断（作文等での評価<br>）できる場合は考慮す<br>る。<br>（例）今年度3年生で<br>来年度4年生に進級す<br>る場合は、2年次の成<br>績評価で判断。<br>家計基準：世帯の所得<br>金額は選考基準の一つ<br>ではあるが、応募に当<br>たっては所得金額によ<br>る制限はなし。<br>選考は、書類審査、面<br>接審査（ビデオレター<br>審査）により実施<br>※他の民間企業、団<br>体が交付する奨学金<br>（給付型及び貸与型）<br>との併用は不可。 |
| 28 | 三木市教育委員会奨<br>学金                      | R7. 6. 2                            | 給与 | 6,000円   |          | 令和7年4月1日以前<br>から本人又は本人の生<br>計を主として維持する<br>方が、三木市に住民登<br>録をしていること。  | ・家族構成に応じた所<br>得制限有り<br>（例：令和6年の所得<br>額が世帯人員4人の場<br>合293万円以下）   | 期間1年間   |
| 29 | 高砂市奨学金                               | R7. 5. 19                           | 給与 | 8,000円   |          | 高砂市内に在住  | ①生活保護世帯または<br>②総所得金額が定めら<br>れた基準以下または①<br>②以外の世帯で世帯主<br>の死亡等により経済的<br>に修学が困難である者<br>例. 令和6年の家族全<br>員の所得金額の合計が<br>世帯人員4人の場合1,<br>505,000円以下   | 期間1年間   |
| 30 | 公益財団法人朝日ウ<br>ッドテック財団                 | R7. 5. 30                           | 給与 | 25,000円  | 1名       | ・4年生対象<br>・奨学生本人が近畿地<br>域(滋賀・京都・大阪<br>・兵庫・奈良・和歌山)<br>に居住していること。  | 学力基準(目安)：1～<br>3年生までで取得した<br>全単位数のうち、優<br>の評価を受けた単位数<br>の合計が60%以上を占<br>めること。<br>家計基準(目安)：日本<br>学生支援機構の第一種<br>奨学金の家計基準に準<br>ずる。   | ・志操堅固、学力優秀<br>、かつ特に経済的援助<br>を必要とする者。<br>・他の奨学金との重複<br>について制限はないが<br>、給付奨学金について<br>は他の団体からの奨学<br>金の給付を受けていな<br>い者を優先する。  |
| 31 | 芦屋市奨学金                               | R7. 6. 27                           | 給与 | 課税世帯<br>5,000円   |          | 芦屋市内に保護者が<br>在住<br>※1～3年生の学生対<br>象   | 家族構成に応じた所得<br>制限有り（家計急変発<br>生後1年間の所得額が<br>選考基準額以下になる<br>見込である世帯を含む<br>）<br>例：令和6年の所得額<br>が世帯人員4人の場合<br>309万円以下   | 生活保護受給世帯、兵<br>庫県高校生等奨学給付<br>金制度による給付を受<br>けることのできる方は<br>対象外   |
| 32 | 山田進太郎D&I財団<br>STEM（理系）女子奨<br>学助成金    | 直接応募<br>R7. 9. 30                   | 給与 | 100,000円<br>(1回限り)                                     |          | 本科1、2年生の女性<br>(性自認もしくは戸籍上<br>の性別が女性)で2026<br>年度も高専に在籍予定<br>の方  | 応募資格を満たし、か<br>つ、給付が内定された<br>方の中で、2026年4月<br>までに「理系クラス」<br>など、必要書類を提出<br>した方が給付対象。<br>希望者は、学校を通さ<br>ず、各個人で申請して<br>ください。   | 財団のホームページに<br>ある申し込みフォーム<br>から申し込み。<br>詳細は、以下からご確<br>認ください。<br>https://www.shinfdn.<br>org/scholarship2025  |
| 33 | 日新電機グループ社<br>会貢献基金                   | R7. 7. 22                           | 給与 | 30,000円  | 1名       | 電気情報工学科に所<br>属し、2026年4月に専<br>攻科1年次に進学予定<br>の者  | 給付期間：原則2年間<br>給付時期：4月末、7<br>月末、10月末、1月末<br>に3ヶ月まとめて振込<br>。   | ・経済的困難があり、<br>学業優秀な者<br>[研究分野]<br>電力システム<br>系統連系技術<br>大容量電力変換技術<br>エネルギー管理の最<br>適化制御技術に関わ<br>る研究をしている者  |
| 34 | コープこうべ奨学金<br>財団                      | R7. 9. 12                           | 給与 | 10,000円  |          | ・本科1年生<br>・コープこうべの事業<br>エリア内に居住（実<br>際に居住している住所<br>が基準になります）<br>※兵庫県全域、大阪<br>府（島本長、高槻市<br>など）、京都府（京<br>丹後市）<br>・学習意欲があるが、<br>経済的な事情で修学の<br>継続が難しい                | 給付期間：1学年から<br>卒業まで<br>給付時期：初回は12<br>月末に11・12月の2<br>か月分、2回目以降は<br>2・5・8・11月の各<br>月末に3か月分をまと<br>めて給付   | 申請には、申請書・年<br>間の収入を証明する書<br>類・「卒業した中学校<br>（3年次）」の成績や<br>出欠等がわかる書類<br>のコピーを準備し、申<br>請者が直接提出<br>詳細は、以下の募集要<br>項にてご確認ください<br>。<br>https://kumikatsu.<br>kobe.coop/shogaku<br>kin/dl/document2025<br>_1.pdf   |
| 35 | ビヨンドトゥモロー<br>ジャパン未来スカラー<br>シップ・プログラム | R7. 9. 12                           | 給与 | (年額)<br>500,000円                                       |          | 次年度に4年生に進<br>級する者  | 下記の一つ以上に該<br>当すること。<br>①保護者が死亡してい<br>る。<br>②ひとり親家庭である<br>。（母子家庭など）<br>③児童養護施設などの<br>児童福祉施設・社会的<br>養護の施設に暮らして<br>いる。<br>④里親家庭に暮らして<br>いる。<br>⑤生活保護受給世帯に<br>暮らしている。                          | ・年間を通じて開催さ<br>れるプログラムに参加<br>する意志があり、プロ<br>グラム参加に際し健康<br>上の支障がないこと<br>。<br>・2026年3月に開催<br>するオリエンテーショ<br>ン・プログラムへの参<br>加を確約できること<br>。<br>・オンラインプログラム<br>に参加するための安定<br>したインターネット環<br>境を自身の責任で準備<br>できること。  |

| No | 奨学金の名称                     | 学生課提出締切日                               | 形態 | 金額<br>(月額)  | 応募<br>人員 | 備考 1  | 備考 2  | 備考 3   |
|----|----------------------------|--|----|---|----------|---|---|--|
| 36 | 神戸やまぶき財団奨学金<br>(高校時予約奨学生)  | R7. 9. 16                              | 給与 | ※入学一時金、学資奨学金、生活援助金支給のコース設定あり。(財団の総合的な修学支援の必要性評価により決定、申込者の選択不可。) |          | 兵庫県内に保護者が在住し、来年度4年生の者。(満20歳未満)  | ・障害者、要保護児童、または難病患者に該当する者。<br>・申請者は、高等教育修学支援新制度にも申請することが条件。<br>・他団体から奨学金を受給する場合、本奨学金の支給金額を調整して決定。<br>・経済的な理由により就学が困難であると認められる方。<br>例：3人家族で世帯収入800万円(所得620万円)を目途。 |  |
| 37 | 神戸やまぶき財団奨学金<br>(大学等在籍者奨学生) | R7. 9. 16                              | 給与 |   |          | 兵庫県内に保護者が在住し、今年度4年生・5年生または5年生で来年度大学への編入学予定者、専攻科1年生。(各学年年齢制限有)   |   | 当財団の奨学生もしくは過去に不採用の方の再申込不可。   |
| 38 | 木下記念事業団奨学金 (予約)            | R7. 9. 10                              | 給与 | (年額)<br>720, 000円   | 2名       | 日本国籍を有する5年生で、次年度に国立大学または事業団が指定の関西圏内の公立大学に編入学を希望している者。<br>※上記大学に進学しない場合は、奨学生としての権利を失う。   | ・主たる生計維持者の年収が以下を超えない者<br>・給与収入700万円以下<br>・事業所得490万円以下<br>・保護者の保有する資産額の合計が2, 000万円未満であること。   | ・他の給与形式の奨学金の支給を受ける予定のない者。(併給不可。)<br>・下段「予約寮生」との同時申請は可能であるが、その場合、主たる生計維持者の年収は500万以下。<br>・事業団ホームページの「理事長挨拶」及び「設立の趣意」を読んだ感想文等の提出が必要。          |
| 39 | 木下記念事業団奨学金 (予約寮生)          | R7. 9. 10                              |    | 入寮  |          | 日本国籍を有する5年生で、次年度に国立大学または事業団が指定の関西圏内の公立大学に編入学を希望している者。<br>※上記大学に進学しない場合は、寮生としての権利を失う。  | ・主たる生計維持者の年収が以下を超えない者<br>・給与収入1000万円以下<br>・事業所得700万円以下<br>・自宅から90分以上、通学時間を要する者  | 寮は神戸市、芦屋市にある。<br>賃料・入寮費原則無料。(光熱水費等は個人負担。)<br>上段「予約奨学金」との同時申請は可能であるが、その場合、主たる生計維持者の年収は500万以下。<br>・事業団ホームページの「理事長挨拶」及び「設立の趣意」を読んだ感想文等の提出が必要。 |
| 40 | アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度     | R8. 2. 6                               | 給与 | 20, 000円  |          | 現1～2年生対象  | 18歳未満で小児がんを発症した小児がん経験者またはがんにより主たる生計維持者を失った遺児。(一部成績基準あり。)  | 財団が定める所定の給与所得を超えない世帯<br>例：4人家族の場合<br>給与収入599万円以下<br>給与所得以外の所得245万円以下   |
| 41 | コマツ就学支援一時金                 | R8. 1. 7<br>〔学生課への申出期日<br>R7. 12. 12 〕 | 給与 | 100, 000円   | 1名       | 1～3年生で令和7年度後期授業料の納付期限前1年以内において、以下のいずれかに該当する者。<br>ア 大規模災害等に被災し、居住している家屋が全壊、大規模半壊又は半壊の被害を受けた者<br>イ 学費負担者が死亡した者<br>ウ 社会的養護を必要とする者<br>エ 学費負担者が非自発的な事由により失職をした者<br>オ その他前各号に準ずる場合であり、校長が経済的理由により就学が困難と認める者 | 左記ア～オを満たす希望者が居なかった場合、次の基準を全て満たす者<br>カ 世帯員全員の住民税(市町村民・都道府県民税)が非課税である者<br>キ 申請年度においてその前年度と同一学年にとどまっていない者<br>ク 入学後懲戒を受けていない者                                       | 給付時期(予定)：令和8年3月上旬<br>※一時金のため、継続的な支給は行われない。<br>※一時金として給付される奨学金を除く、他の給付型奨学金との併給は不可。  |

※「直接応募」以外の奨学金については、学校を通して応募する必要がありますので、希望する学生は、必ず学生係までお問い合わせください。  
※財団等の都合により、本校Webサイト等の媒体には掲載していない奨学金もあります。